

次 第

日時：令和5年5月18日（木）

午後6時30分～

会場：北諏訪地区公民館 集会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【協議事項】

- ・地域活性化の方向性について

4 その他

- ・次回の地域協議会の開催について

 月 日（ ）午後6時30分～ 北諏訪地区公民館

5 閉 会

北諏訪区における「地域活性化の方向性」について

《北諏訪区の地域活性化に向けて》

北諏訪区の〇〇〇〇という個性（強み、特性）をいかして、

△△△△△△△△△△△△ます。

■構成要素（案）

- | |
|--------------------------------|
| ・ 地域の特性を活かしたイベント（さくらの学校や飯田川など） |
| ・ 地域の方々の交流促進（地区運動会、若者が集える活動など） |
| ・ 人口減少を緩やかにするための取組（地域の魅力発信など） |
| ・ くるみ家族園の利活用（地域の交流の場として） |
| ・ 安全・安心なまちの維持（水害対策など） |

■表題（キャッチフレーズ）について

〇〇〇〇の部分

※案や入れたほうがよい言葉などを記載してください。

をいかして、

△△△△△△△△△△△△の部分

※案や入れたほうがよい言葉などを記載してください。

ます。

北諏訪区の地域活性化の方向性について出された意見【再整理】

(※) …地域の方からの意見

【自然環境】

- 自然に恵まれている
- 圃場整備された田園風景
- 一級河川飯田川（大雨による水害の危険もある）

【住環境】

- 近くに商業施設があり、地理的に恵まれている
- 市街地から程よい距離があり、生活の便利さと四季の自然の両方が感じられる (※)

【地域活動】

- 小学生や大人のスポーツ活動がさかん。活躍の情報がわからない
 - ・地域の団体の活動の周知に工夫が必要
- 地域で活動している方（運推、食推など）の活動を知らない人が多い
 - ・北諏訪まちづくり振興会と地域の団体が連携しながら活動する
- 北諏訪まちづくり振興会が設立された（まだ途上）
 - ・特性、個性、魅力を探しながら、次世代につなげていけるように活動し、地域に発信していく

【学校コミュニティ】

- 北諏訪小学校を中心に、町内会、同窓会、各種団体が連携している
- 北諏訪小学校の桜：「さくらの学校」として親しまれている
 - ・地域の宝として地区全体で見守り、整備方法を検討していく
 - ・桜をいかしたイベントができればよい

【交流促進】

- 在来の地域（農家）と新興住宅地で考え方が違う
- 地区内のまとまりが少ない、意思統一が難しい
 - ・地域の声を知る意見交換の場を持つことが必要
- いろいろな行事が計画されているが、参加者が少ない
 - ・参加を促す方法を検討する
 - ・地区運動会、発表会、雪まつりなどのイベントを実施してはどうか
 - ・若者の集まる団体を作ったり、イベントを開催してはどうか
- 団体が少ない（老人会、婦人会、青年会等がなくなった）
 - ・人の交流が生まれるように意識して活動する。先頭に立つ人を育てる
- 飯田川を中心とする交流の場（川沿いの美化と堤防の補修）(※)
- 保育園、小学校を通じた保護者間の連帯感や、消防団活動を通じた連帯感を強め、40代までの人たちが顔の見える関係を築く (※)

【歴史・文化】

- 諏訪村が分村してできた地域（中心部がなく、統一性を図れなかった）
- 史跡
（筆塚、正心学舎の跡、荒瀧六郎の碑、用水記念碑、戦国時代の館跡）（※）

【伝 承】

- 盆踊りなど、町内の伝統的な行事がなくなっている
- ・「まつりっち i n きたすわ」を地域の祭りとして続けていく

有田区における「地域活性化の方向性」

《有田区の地域活性化に向けて》

有田区の自然、利便性、さかんな産業などの恵まれた環境をいかして、あらゆる世代が住みやすい地域としてあり続けます。

○構成要素

- | |
|-----------------------------|
| ・住んでいて心地よい地域であるための環境維持と防災対策 |
| ・学校コミュニティを中心としたイベントや活動の推進 |
| ・カルチャーセンターなど地域拠点の利活用 |
| ・あらゆる世代・国籍の人々の支え合いと交流促進 |
| ・地域で大事にしている行事・歴史・文化の継承と魅力発信 |

和田区における「地域活性化の方向性」

《和田区の地域活性化に向けて》

和田区は、上越地域のゲートウェイとしての特性、魅力ある歴史・文化と豊かな自然・農地を活かし、住みやすい、住みたい、訪れたい地域を目指します。

○構成要素

・ 交通の要衝としての上越妙高駅や情報通信の拠点を活かした地域振興
・ 吹上・釜蓋遺跡や地域の宝などの歴史・文化の発信、活用
・ 次世代を担う人材の育成とイベントの開催を通じた交流人口の拡大
・ 妙高山をはじめとする美しい景観・自然、豊かな農地等の環境保全、活用
・ 安心安全で、福祉の充実した暮らしやすい地域づくり

三和区における「地域活性化の方向性」

《三和区の地域活性化に向けて》

三和区は、上越市の中央に位置し、広大な田園や里山、ため池など豊かな自然環境に恵まれています。こうした美しい景観や地域資源を大切にしながら、今後予定されている上沼道三和 IC（本郷）の開通を見据え、住民一人一人が様々な活動に参画し、心豊かで安全・安心なまちづくりを進めていきます。

○構成要素

- | |
|---|
| ① 自然（谷内池やオニバス等）や田園の環境保全と情報発信 |
| ② 三和区の宝（林富永邸、大間城址、北代ぶどう園等）を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施 |
| ③ 安全・安心でおいしい米産地として付加価値の高い地域ブランドの形成と、味噌や地酒、栗などの産品を活用した特産品の開発 |
| ④ 新たな「地域づくりリーダー」や「地域活動コーディネーター」の育成と社会教育の推進 |
| ⑤ 地域活性化に寄与する空き家の活用と移住者への支援 |